

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024 年 9 月期調査結果（2024 年 11 月発表分）

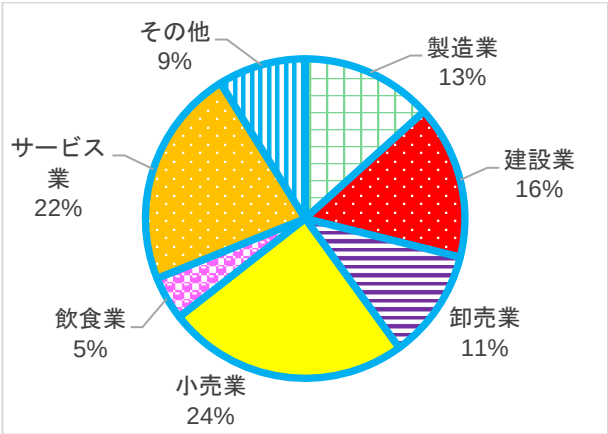
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、WEB アンケート調査を行いました。

回答者数は 45 名（回答率は 65.2%）

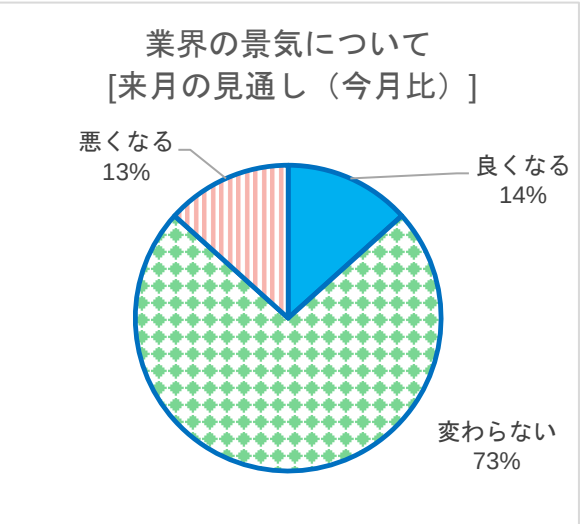
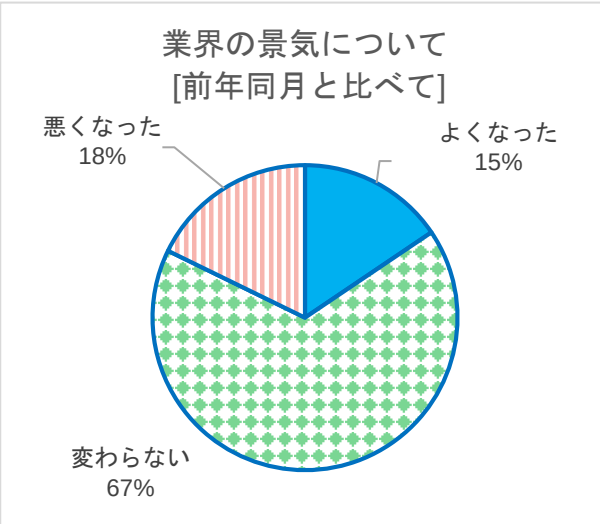
業種	回答者数	構成比
製造業	6	13.3%
建設業	7	15.6%
卸売業	5	11.1%
小売業	11	24.4%
飲食業	2	4.4%
サービス業	10	22.2%
その他	4	8.9%
計	45	100%



調査結果のポイント

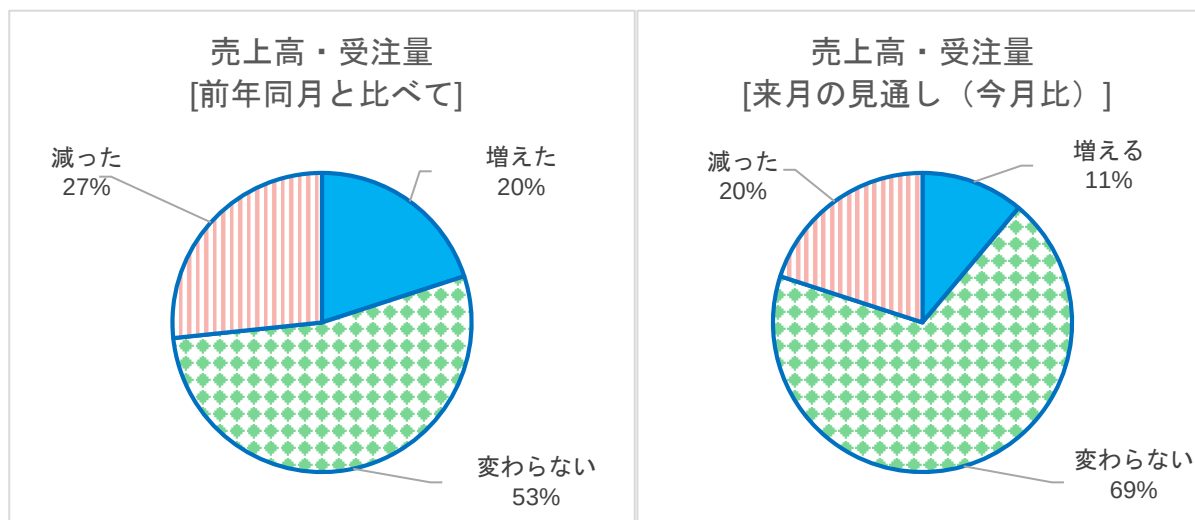
< 景況 >

- ・ 2024 年 9 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 15.6%、「変わらない」が 66.7%、「悪くなった」が 17.8%となりました。
- ・ 2024 年 10 月以降の見通しについて、9 月と比較して、「よくなる」が 13.3%、「変わらない」が 73.3%、「悪くなる」が 13.3%となりました。



<売上高・受注>

- ・2024年9月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」20.0%、「変わらない」が53.3%、「減った」が26.7%となりました。
- ・2024年10月以降の見通しについて、9月と比較して、「増える」が11.1%、「変わらない」が68.9%、「減る」が20.0%となりました。



【景気動向 DI（毎月版）】

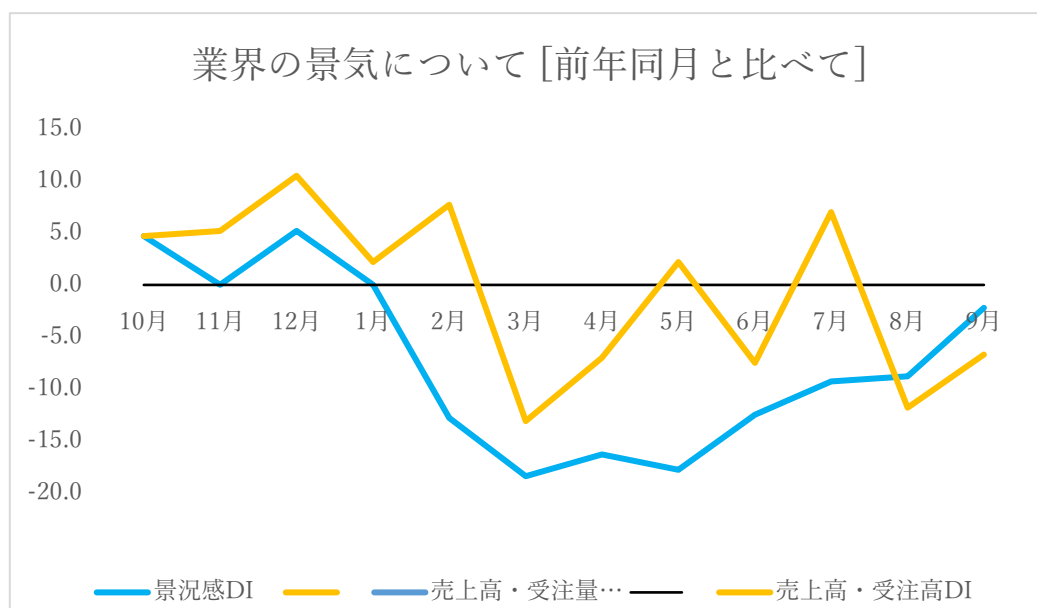
<概要>

景気ウォッチャー調査員69名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

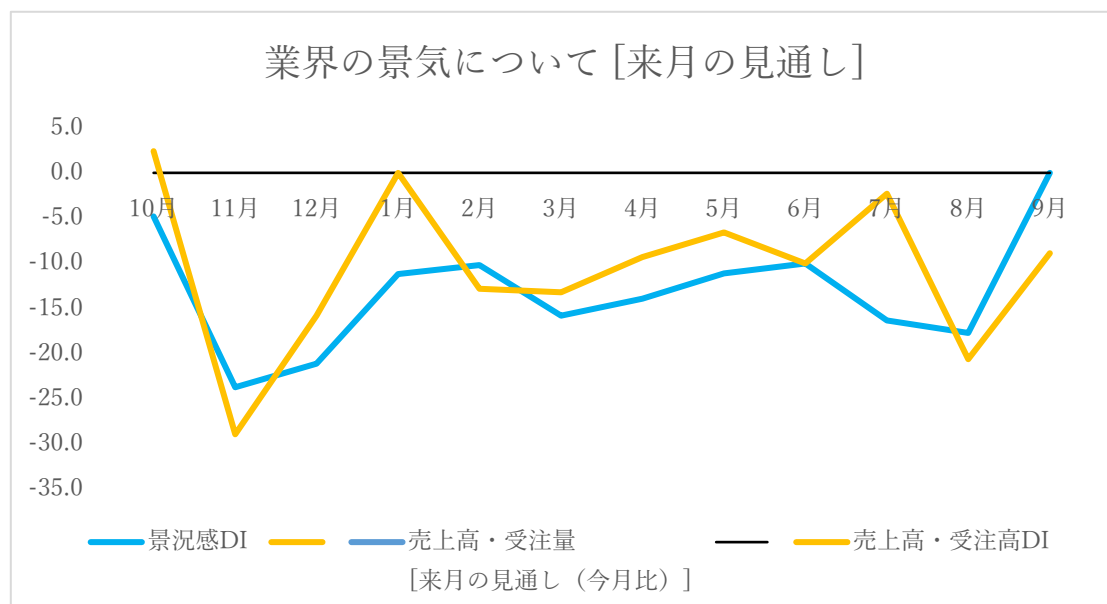
⇒0より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2023年9月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
景況感DI	4.7	0.0	5.2	0.0	-12.8	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高・受注高DI	4.7	5.2	10.5	2.2	7.7	-13.1	-7.0	2.2	-7.5	7.0	-11.8	-6.7

2023 年 9 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について [来月の見通し(今月比)]												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
景況感DI	-4.8	-23.7	-21.1	-11.2	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0
売上高・受注量 [来月の見通し(今月比)]												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高・受注高DI	2.4	-28.9	-15.8	0.0	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
建築工事業	大手銀行が住宅ローンの変動金利引き上げを表明したので、今後の住宅受注にどのような影響が出るか気になる。
鑄材(卸)	相変わらず製造業の低迷が続いている
自動車タイヤ(小)	タイヤメーカーは殆ど過去最高益など好業績のようですが、末端にはその恩恵は全くない状況。再々値上げが無いだけ、良しとしなければいけないのか？
印鑑(製・販)	去年はインボイス制度が 10 月より開始され、9 月ごろより事業者番号のゴム印などの需要がありましたので、その分昨年より売上が減っている。
土木工事業	担い手不足、後継者不足、高齢化が心配。
警備業	定年をむかえた方々のその後の就職先として警備会社への就職が多くなってきたようだ。
機器工具(卸)	手形の 60 日ルールがはじまり、一部、大手の仕入先からこれを根拠にサイト短縮の依頼がきている。対して回収側では、中堅規模の企業でも未だに 120 日手形があり、対応に苦慮している。

社会保険労務士	最低賃金改正により、求人募集をするにあたり既存従業員の賃金改定を実施することになった。
楽器(製)	暑さが収まらないため、体調を崩す職員がいた。
社会保険労務士	AIを活用できたらと思い勉強中。
茶(加・小)	Z世代と業界の話しをしても、似て非なるもの。一回り以上違えばしっかり聞いたつもりでも、単語のイメージも異なるのでターゲット層にしたいくても苦戦をしている。
サッシ・ドア(製)	相変わらず超低調だが、一時期よりは動きが出始めた。しかし業績が改善されるほどではない。
木製家具(製)	10月からまたいろいろなものが、値上げされ、価格転嫁がおいつかない
司法書士	相続登記の義務化が始まり相談が増えた
電気機械器具(小)	パナソニック、25年3月末で直管蛍光灯の生産を終了。照明器具のLEDへの買い替えが、進むのではないかな。
事業協同組合(青果)	最近野菜の高騰が続いているので品不足が心配。
事業協同組合(石油)	9月のガソリン販売数量は、前月が南海トラフ地震に関連した仮需により増加したため、反動で減少した。政府の補助金支給は年内継続されるが、来年以降の対応の詳細は未定であり、出口戦略が懸念される。
事業協同組合(ものづくり)	設備の老朽化や省エネ化に対応するための設備投資が必要だが、今後の受注見込に不安な要素が多く、投資に踏み切れない。
事業協同組合(鍍金)	コストの単価への反映が遅い。
燃料(小)	円高傾向であったため、ガス仕入価格の下落を期待していたが、再び円安傾向に転じてしまった。
資材(卸)	地域を活かす為にもネットばかりでなく、多少高くても地域の業者より購入するような意識を持っていただけると嬉しい
建築設計業	建設業界の発注量に対する機械設備業者不足は引き続き続いているようで、電気設備工事も同じく業者不足の様子。
業種区分	①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響 ③インボイス制度への対応 ④ダイハツ問題 ⑤その他
税理士	②為替の変動、株式相場の変動等激しい動きとなり、将来が不安。
税理士	②価格転嫁により、売上を伸ばしきれしていない。社員さんへの賃上げをしたくても、できない経営をなんとかしたくても、どうにもならないという声がある。定額減税を考えると年長が心配という声もある。
事業協同組合(鉄)	②一部のホンダ関連の下請企業は円安の影響でタイ工場からの配当金、ロイヤリティ等が1.5倍の入金になっており国内の親会社よりも売上が多い。海外に工場を持つ企業にとっては利益に貢献している。国内の売上、利益は横ばいなし、やや減。
土木工事業	②建設資材の物価高騰による利益幅が減少している。
経営コンサルタント	②中小企業で原価転嫁ができていない企業が多いようだ。
茶(加・小)	②必需品や電気料金など、選べない物事の物価高騰が相次ぐ中、地方の嗜好品は客離れを懸念して断念が続くが、値上げのタイミングを見計らう。
自動車タイヤ(小)	②物価高を含め、日本がより一層貧しい国になっているという感覚がある。働き甲斐のある国になるように舵取りをしてほしい。
鑄材(卸)	②物価高騰が2次、3次となってきたものがある。

楽器(製)	②物価高騰が収まらないため、今月より値上げを行った。商品が動かないのではという不安もあったが、動いてくれているので安心している。
居酒屋	"②物価高騰が非常に厳しい。忘年会に向けて、金額設定も含めて宴会コースが悩ましい。
資材（卸）	②物価高騰による影響で値上げの要請が多くきているが、昨今の円高への動きの中での要請となりエビデンスが弱く、客先への価格転嫁ができないでいる為状況は芳しくない
社会保険労務士	②米が買えず外食が増えたが、もう牛丼は安くないのと感じた。
警備業	⑤その他：最低賃金引上げにともない、元請会社との請負単価交渉を行い、ほとんどの元請会社に理解を得ることができた。
木製家具(製)	⑤相変わらず海外からの輸入木材は入りにくく、今後も続くとみられる
事業協同組合(鍍金)	⑤台風 10 号の影響により、物流への支障、取引先の休業措置など影響があった。
税理士	⑤中小企業にも D X 化の波が押し寄せている。いずれ対応しなければならないのは誰もが感じていること。早めに推進していくことが差別化につながる。

以 上